

第14回サッカースタジアム検討協議会

三浦会長

それでは第14回になりますが、サッカースタジアム検討協議会を始めさせていただきたいと思います。本当に暑い中、皆さまお集まりいただき、ありがとうございます。

今回もかなり内容的には佳境に入りつつあるなということになっていますので、時間も限られておりますので、効率的に進めつつ、皆さん方のご意見をいただければと思っております。今回は高木委員の方が欠席ということに急遽なりましたので、このメンバーで進めていきます。

それでは、お手元の資料、次第の方をご確認いただければと思いますけれども、今日は議事としては、前回の協議会の決定事項についての確認をしまして、その後スタジアムのコンセプトについてということで案が出ておりますので、それに対して意見をいただければと思います。それから前回、基本的な方針については決まっておりますけれども、具体的な調査・質問項目等を含めたアンケート調査の内容についてご意見いただきたいと思います。

それから候補地の評価方法については、これからの各資料と協議会の委員方にしていただきましたAHPによる評価、これらをどのように使っていくのかという方向の説明をしていただくことになります。これを本日予定しています。

資料については、資料1から4で、参考資料は今後に向けてということで用意しております。資料の方は大丈夫でしょうか。

それでは、まず資料1です、第13回、前回のサッカースタジアム検討協議会の決定事項について事務局から説明をお願いしたいと思います。

事務局

失礼します。それでは資料1をご覧ください。第13回サッカースタジアム検討協議会の議事結果ということで、確認をさせていただきます。まず、1番として今後のスケジュール。これについては了承された。なお、8月に協議会とは別に詳細検討を行っていく際に必要となる項目について勉強会を行うこととした。2番目、候補地評価項目。これについては、次の内容を加えることで了承されました。「アクセス性」にバイクを追加すること、「牽引性」の内容に、観客動員が図れるかどうかの視点を追加。3番目に候補地の絞り込みとしまして、「広島西飛行場跡地」を検討対象候補地としないことで了承されました。4番目としまして、スタジアム・コンセプト。次のような意見があって、継続して審議することになりました。1番目、各候補地の制約条件をきちんと整理すること、制約条件を前提としたうえで、それぞれの良さを出す議論をすべき、3番目として平和はコンセプトに入れるべき。5番目アンケート調査。次の意見があり、次回協議会で具体的な質問内容を提示し再度議論することとなった。1つ目、標本数を増やすべき。2番目、具体的な質問内容を提示し議論すべき。以上です。

三浦会長

ありがとうございます。以上が確認事項ですけれども、よろしいでしょうか。

加藤（義）委員

ちょっと2点ほど意見を述べたいのですが、3番の候補地の絞り込みなんですけれども、ちょっとしつこいようなんですけれども、最終的な西飛行場跡地を検討対象候補地のとしないことで了承された。その前に、これは当面しないで進めましょうと言ったけど、最終的に道路の計画だけでもって、あれを消滅させることについては、議論があるので、それを議論するパターンもあるし、まだはっきりしていない部分がある。ということは、当面これは白紙で考えましょうということとは議事録に残しておいて欲しいと思います。説明したということだからからそこは問題ないと思います。それから5番のアンケートのところは、アンケート調査のところは今日具体的に入ってきますから大丈夫だと思います。

三浦会長

今、加藤委員の方からですね、広島西飛行場跡地に関してということで、このなかで限られた時間のなかで議論を深めるためにということで、条件的に今のところ他の候補地よりも厳しいところがあるということで、検討する候補から外すといういたしましたけれども、それについて全くなしということではないんだという理解をしてほしいということだと思っておりますけれども、御意見等がありますでしょうか。

山根副会長

決まったと思いますが。了承されたと、候補地から外すということで決まったと思います。

三浦会長

検討は、今からしていくところからは外して。

山根副会長

当然ですね。

加藤（義）委員

やはり今は、西飛行場をどうしようかという話はいろいろ進んでいるところなんです。市も県も。そういう中で、道路があればだから何もできないという話はどこにもないわけです。今は、確かに前回の説明は5年前、3年前の計画には道路が描かれていないよ、という説明はありました。しかし、今回その先にこの道路をどうこうする話があるのかなのかというのは、場合によっては市も県も来ていただいて、ここで一切ありませんと言われれば諦めましょうと言ったけれど、それはできない話なんです。今から中をどうするか、場合によっては業者の中から道路を出してもいいではないかという話もある。そういうなかで、ここで切って捨ててしまうだけなら、むしろ沼田のビッグアーチがよみがえって、生きてくるような感じでして。今、とりあえずこの3地点に絞るということで、ここで西飛行場跡地を検討候補地としないことになって、基町と宇品の2地点、そして3か所。これについて進めることになった、というのが正解だと思います。ということで、ここで西飛行場跡地をきってしまう内容に、ということで申し上げたのですが、その意図が残っているのであればありがたいです。

三浦会長

思いとしては受け止められるのですけれども、現実的に私たちが10月までに議論するなかで、そこを議論する余地はちょっと無いと思うのですけれども。ただし、これまで西飛行場跡地というのは候補地としてずっと残って検討してきたので、将来的なことで何か変化があればまた復活することはあると思いますけれど、この10月までの間ではちょっと厳しいのかなというふうに思っております。

加藤（義）委員

あの土地の整備の仕方は道路だけなんですよ。道路だけですね、今からどうなるかわからないのは。ここでそれを消してしまうというのは、あと何ができるのか、道路もできるかも分かりません。そういうことは今ここで言いきれないのではないのかということで。2地点について進めることとしたということならば、私は了解です。でも、ここが変えられなくてもこれで結構です。でも、そんな意見があったことを議事録には残しておいていただきたい。

三浦会長

それは受け止めときたいと思います。ありがとうございます。その他には。

野村委員

前回ちょっと欠席したんですが、私、前にも発言しましたビッグアーチ、エディオンスタジアムについて、あそこは非常にアクセスも悪い、それから非常に観客からのゲームが見にくいということで、椅子も全部ベンチシートになっておりますので、サッカースタジアムの基本のものが揃っていないということがありますので、それであれがまずいから40万人近い署名が集まって、スタジアムを造ってほしいということで、この協議会が始まったのではないかと思うんですよ。それなのに、あれを残したまま、まだこれを残しながら候補地の一つとして、協議していくというのもちょっとおかしいんじゃないかな。今までこの協議会、新しく造るための協議会としてスタートしたんじゃないか、というふうに思うんですけれど。どうでしょう。

山根副会長

最初から、そういう視点も含めて、あの場所も改修とか、あるいは駐車場とかアクセスとかいうようなものも何か改善余地があって、使える可能性はないかというのとしては残そうというのが、候補地としてあるということは意識しておりますかね。

だから、今回の場合はその整理というか、そういう項目になっているかと思います。

野村委員

神戸にみなさん見学に行っていて、よくご覧になられているから分かったと思うんですけれど、今の広島のエディオンスタジアムがサッカーゲームをしたり、いろいろなことをしたりするには、相応しいかということですね。実際に神戸でみなさん方見られたり、お

聞きになられて、バックスタンドの下はジムになっていて、非常に多くの人がそこを利用しているというような。まちの人がそこを利用しているというようなことをお聞きになられたと思うんですが、今のエディオンスタジアムはゲームが終わる前から早く帰らないと混んでどうしようもない。それで、急いで10分くらい前からどんどん帰っているというのが現状なんですよ。それで、このサッカースタジアム検討協議会は何を検討していたのかということに、市民の人からも、今何を検討しとるのかというふうなことを。あれがまずいから検討しとるのではないかというふうな声がありますけれど、それに対して言ってもしょうがないです、今の状態では。

三浦会長

あその位置づけとしては、今副会長の方からありましたように、今具体的に検討していく3つの地点ですね。中央公園自由広場・芝生広場等と旧市民球場跡地、広島みなと公園。こうなると今の段階で同列という形ではないんですね。今私は言いました、3か所について検討をしていきます。それで、現在のエディオンスタジアムについては、その地域の将来的な交通計画、それからアストラムの延伸等もあって状況も変化する、ということでのアクセス性の変化が見込まれるので、それは加味して評価をしていくようになると思います。スタジアムそのもののマイナス面については改修ということで対応できるのではないかと、ということがありますので、そういう意味で残してある、というふうに捉えております。ですから、同列ということではないですが、やはりそちらの方にも変化がありますし、今ある問題点も解決できる可能性があるということで、残してあるというふうに私は思っています。

野村委員

理解は出来ますけれども、ちょっと昔の話になって申し訳ないんですが、2002年のワールドカップをあそこでしょうということで、屋根がないから広島が外されたことがあります。それで、屋根を付けるのに、予算が150億かかるという、あの当時の試算が出たんです。そんなにかかったんではできないよということを当時の市長が言われて、出来なくなりましたが。実際に今からバックスタンドに屋根を架けたり、いろいろするのにもっとかかるんじゃないかと思うんですよ。その辺も考えていく。

山根副会長

そういうことも合わせて出してもらって、考えようというのが、今の位置づけですね。それは元から一番最初からそういう位置づけにしてあるのだから、この前のご欠席のときもこうやって進んでいるわけですから、このまま議論進めましょう。

加藤（義）委員

そのことでちょっと意見があります。前回は基町地区とみなと地区とそれから西飛行場地区と沼田地区の改修という字が初めて入って、4地点が残って出てきたんです。それについて、やっぱり沼田はそういう問題があるから本来はおかしいのではないかという話と、改修という字は今までなかったんですね。どこかに造るんだというような感じで。それから、飛行場を外そうという話になった。それで、今のところ、飛行場だけ外すと沼田は残ってくる

わけです。この議事録をきちんとひくと。それはおかしいと思う。とにかく基町とみなとに絞って、どんどん進めていこうではないか、当面、ということを申し上げたのです。それを今のような整理のされ方をすると、ちょっと意外ですね。今のようなことで、ここの答えはですね、西飛行場1つを候補地から外すのではなくて、本当は西飛行場とビッグアーチの改修も一応は外して、基町とみなとで行こうでないかということを決めたわけですね。それでわたしも了解したわけですが。そういうふうなことで、理解をしておりますので、是非そうしていただきたい。ここで、ビッグアーチを残すとかいう話はもうさっき野村委員が言われたように永遠と続くし、協議会の設立の趣旨に反するので、とにかく今は2地点でいこうと、2地点の3か所でいこうということで、進めたらいいんじゃないかなと思います。そのつもりであります。

三浦会長

同じことを説明するのなんですけども、エディオンスタジアムについては将来的な状況の変化もあるので、それを見込んで、私たちは判断しようということになっていると思います。西飛行場に関していうと、今のところ計画されているものの整理をして、最大限の状況をみたとしても、アクセス性において非常に問題がおきるということを予測して、確認をしましたので、積極的にそこを候補地とすることは難しいだろうという判断をしたと思います。それで、エディオンスタジアムに関しては、将来像については、まだここで具体的な議論あるいは予測値というのをを出しておりませんので、出していない段階で感覚的なことでそこを外すということにならないと思います。今後、具体的な情報整理をし、こういうことが起きるんだ、ということをデータとして示したなかで、やはり私たちは判断としてエディオンスタジアムのところは、状況が変化したとしても難しいということであれば、候補地としては難しいという結論がでてくると思います。ですので、今しばらく状況は見ていただければと思います。

加藤（義）委員

会長がおっしゃることで、エディオンスタジアムの将来のいろいろな動きがあるかもわからないというのは、西飛行場跡地も同じだと思うんですね。だから今しばらくおいておこうやということなら、賛成です。それを整理するなら今大変だと思いますけど、西飛行場を完全に切って、今の理由からいったら、全然優位さはないんですね。

三浦会長

いや、前回のこういった議論のなかでお話しましたがけれども、全く今何もないものが将来出来るかもしれないということで、私たち議論をすると、どこの地点でもいろいろな状況が考えられるので、あくまでも今の時点で計画されているものが実現すればということで、条件は揃えたはずですね。ですから、その条件のなかで見たときに西飛行場跡地については、厳しかったということです。ですからそこを覆されると全ての議論が拡散してしまいますので、私たちは秋までのなかである一定の結論を出すということですから、現時点で明確になっている計画だけを考慮して話をしていきたいと思います。

永田委員

ここで整理というかたちに戻りますが、前回・前々回と私が発言させていただいたんですが、まず西飛行場はアクセス・道路等の問題があるというかたちで、こちらは決断せざるを得ないというふうに認識しております。エディオンスタジアム自体は、そもそも先ほど野村委員からお話がいったように、そちらのアクセスの面での問題があるというかたちで、この検討協議会が立ち上がった。サッカースタジアム建設の検討協議会であって、改修の検討協議会ではないという認識で私は参加しているという部分もあります。また、それと例えばですが、今アストラムラインの延伸化の予定があるという、あくまでも予定であって、これは予定は未定といいますか、正式に決まったものではありませんので、多分今、加藤委員がおっしゃるように、もし西飛行場がなくなるのであれば当然エディオンスタジアムも案としてなくなるといいますか、当面は考えない。要するに、2地点3か所で議論を進めた方がより円滑に効率よく議論が進められるのではないかというふうに私は汲み取っているのですが。会長がおっしゃるように、メディア等の報道にアストラムの延伸化の案がでていると思いますし、確認はしております。ただ、それが本当にできるかどうかというのはまだ議論の段階であって、どのようにしていこうか、西広島の方に伸ばしていこうという案が、経済効果が出されておりましたけれど、それが果たして本当に出来るかどうかというのは、全く未定であって、もしかすると、西飛行場においてもまた新たに道路もしくはいろいろな広電等が、また軌道系のものがもしかしたら出来る可能性もまだあるかもしれないという部分を考えて、この2地点は当面検討にする場所ではないのかなというふうに感じております。

三浦会長

ちょっと失礼かもしれませんが、先ほど私が言いましたように、私たちが考えるということで現時点での計画あるものにしましょうことなんです。それなのに、今委員は出来るかもしれないということを持ち出されました。それはちょっと違うのだと思います。現時点で県や市の方で計画されているものは加味する、ということでスタンスを決めてますので、それを超えては議論として難しくなると思います。それが一点ですね。エディオンスタジアムを是非外すべきということであれば、それに関して将来の各種計画を踏まえて、どういう状況が生まれるかをやはり私たちは確認をしたうえで、そこで試合の終了時の集中的な人々の移動というのが、観戦に来られた方が苦痛に思わずに帰っていただける、あるいは再び来ようと思えるような状況に変わるかどうかを確認してから、外すことになると思います。現時点でそういうことに関して全く資料がないところで、思いだけで外すことは出来ないと思います。

永田委員

度々申し訳ございません。思いだけというわけではなくてですね、今現時点でエディオンスタジアム周辺ににぎわいができるのか、そういうにぎわいができるような想定がされているかどうか、ただ単純にアクセスだけで今予定がされているという案があるというだけであって、あくまでも案であってこれがどうなるか分からないというのは、そこを見て判断して取り決めるというのはいささか疑問があるかなというふうに感じております。

塚井委員

まず私の立場を明らかにしておきますと、エディオンスタジアムを残して下さいと私は申し上げました。なぜそう申し上げたかという、これは現状で建っている場所という意味でベンチマークになるからと思ったからです。現状の場所がどれだけの条件の場所か、先ほども改修には非常にお金がかかるだろうし、アクセスが大変なんだろうと、これは私も承知しております。恐らくそういう結果になるでしょう。しかしながら、これは私の専門が交通計画、むしろ都市計画の方であるから、その立場で申し上げますと、あそこを開発するときに、そもそも完全なフルの使用を想定したサッカースタジアムではありませんでした。そういう意味では、今となっては要求されるスペックには合っていないのかもしれませんが、しかしながら、最も最初に決めた候補地、この広島にプロサッカーという意味での最初です、という意味では、やはりあそこには一定の敬意をはらうべきだろう。しかしながら、試算してみると、恐らく条件は良くないというのもでてくると思います。でも、我々は現在の場所がなぜダメなのかという説明も合わせてしなければいけないと私は思っています。40万人の署名というものも重いものですが、しかし何分の40万なのかよく分からないんですよ。例えば、これが50万分の40万であればそれは、8割という割合になりますが、母数が100万とか150万であれば、それはやっぱり8割ではないんですね。そうすると、その他の方々が意見を表明されなかったのは、時間がなかったからなのか、たまたま答える術がなかったのか、そういう可能性はもちろんありますが、どちらだろうと迷っておられる可能性もあると思うんですね。そういう意味で、事業の説明性を高める意味でも、恐らく試算するとあまり良くない結果が出るかもしれませんが、それでも残しておいてみておきたい。私がそのままそこを残しておいてくださいというふうに申し上げたのは、そういう意味であります。で、その他の地点については、先ほど会長が何度も説明されていますけども、やはり今、都市計画のなかで位置づけられられているものとそうでないものの差はかなりあります。これは絶対出来ないという意味ではありませんが、実現できるスピード感を考えたときに、ちょっと今、地図に載っていない、誰も頭の中で具体的にラインを書いていないものを実際に計画にのせて決定して、事業化することは、そう簡単なことではありません。土地が天から降ってくる訳ではありませんので、もちろん用地を削ってという話もないことはないのですが、これはこれで、現況の土地を大きく変えるような大きな仕掛けをつくることになる。そういった意味で現状の整備は、私は妥当であるというふうに考えております。以上です。

加藤（義）委員

現時点で残す、残さないの話をすると、ややこしいんですよね。もう時間がかかってしょうがないから、やっぱりこの議事録の絞り込みについては基町地区とみなと地区に絞って、検討することにしたとしたら、なぜいけないのですかね。できたら、そうしたらいいのではないですか。

山根副会長

いけませんよ。こういうことを決めましたよね、この前。あくまで。前回の議事録ですよ。元に戻されるとややこしいではないですか。前回の議事録はこれを外すということで決まりましたよ。

加藤（義）委員

そう書いてもらわなければ。私は2地点に絞っていくことにしよう。当面は。

山根副会長

西飛行場跡地を検討対象候補地としないことで了承されたということです。みなさんどう思われますか。

鵜野委員

私も基本的にはそういう理解ではありますけども、1つ確認をしておきたいのですが、今日時点で確定している計画だけを元にしてアクセス性等を検討するということによろしいですよ。まだよく分からないとか、タイミングがどうなるかわからないことで良くなるから、ではいいですよ、ということは無いということですか。それをちょっと確認しておきたいと思います。

川平委員

議論を以前に返したくないので、あまり申し上げませんが、元々は9か所でスタートしたんですね。9か所のなかには当然現有地も入っていましたし、現有地の課題はアクセスであったり、そういう設備であったり。これらはみなさん1つの認識として課題があるというふうに私も思っています。ただ、それを今後改修する可能性があるんだということも事実であって、今の段階で元々9か所あったもののなかで最初2か所落とし、さらに議論して5か所になって、前回の協議で4か所になったことが事実。4か所は、中心部の2か所と宇品と現有地ということなんです。まあそこまで進んできたのですから、それを前提として、話をしていけばいいのではないかと私は思っています。以上です。

三浦会長

加藤委員の思いもあるということで、そのあたりを私たちは受け止めた上で今回議論を進めるために西飛行場については、ここに書いてありますように検討する対象とはしないということで、了解をしていただければと思います。よろしいでしょうか。

小谷野委員

加藤委員のご発言での関係で、議事録に残しておくというのは1ついい考え方だなと思います。この協議会が行われている時点での先ほど野村委員からもありましたけれども、最新の状況に基づいてこういう議論になりましたという議論の前提条件と、それから報告書ににどういうふうにまとめていくのかという過程で、落ちた議論ですとかコンセプトというものを、将来禍根を残さないためにも、市政県政にもこういうものがあつたんだよと残すために議事録はきちっと整理しておくのが、これは大事なかなと思いました。我々委員の間でも最初の5回くらいまでは議事録回ってきていたんですけど、そこから議事進行の過程で前回の議論を踏まえるというのが冒頭にあるので、特に議事録というのは配布されておられませんけれども、議事録をきちんと整理して、この協議会が終わったときに、報告書と同時に広島

まちのみなさまにも議事録が閲覧できるような、そういう体制をとっておくということも将来の環境変化で何かが起きたときには、大事なのかなと考えます。

三浦会長

ありがとうございます。そのあたりの整理を次回以降進めていきたいと思います。それでは資料に基づく最初の内容についてはよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、続きまして前回の協議会から継続審議となっております資料2のスタジアムコンセプトに入りたいと思います。これについては、前回のたたき台として出てきたものに対して意見がそれぞれありまして、そのあたりを事務局側でとりまとめめをしまして、作り上げたものです。お手元の資料2の最初のページ右上の赤い枠になっている部分をご覧ください。だいたいなんですけれども、やはり前回のそれぞれ意見等を踏まえて作っているものではありませんけれども、まだ仮説という状況です。また今回の協議会でいろいろご意見が出てくると思います。そういったものを受け止めながら、やはり現実としてマーケットリサーチ等を行って、そのコンセプトというのが、その場で達成できるのかどうかということについては各種分析を踏まえて、また次回にお見せをするということにしたいと思います。ですので、それぞれ今日ご意見をいただくわけなんですけれども、ご意見をいただいたものが100%全てコンセプトとして盛り込むということにはならない、ということです。ご意見をいただきながら、各種調査を踏まえた上で本当にその場で確立できるコンセプトをみなさんのご意見を踏まえながら、内容を深めていきたいと思っております。そういったスタンスで是非ご意見をいただければと思います。

なお、一応ポイントを確認するために、意見については事務局側で要点のとりまとめをしていきます。大事なところですので、コンセプトにつながるキーワード等についてスクリーンの方で投影をしていって確認をしていきたいと思っておりますので。それでは事務局の方から、スタジアムコンセプトについて説明をしていただきます。

事務局

失礼します。それでは資料2についてコンセプトの案ということでさせていただいております。最初のスタジアムコンセプトの検討あるいはスタジアムトレンドについては、割愛させていただきまして、7ページのところから説明させていただきます。各候補地の共通のものがあるということで、そこを整理させていただいております。7ページのところで、まずは広島におけるサッカースタジアム整備の意義について。

三浦会長

あのすみません。委員の資料は1つのページに2つのスライドですので、7番目のスライドということですのでよろしいですね。

事務局

申し訳ありません。では、7番目のところですよ。広島におけるサッカースタジアム整備の意義（各候補地共通）というところですよ。これについては、「広島に相応しいサッカースタジアムについて」これは中間とりまとめのものです。及び、第13回協議会での議論を踏ま

えて、広島におけるサッカースタジアム整備の意義とありますけど、これは訂正でお願いしますが「課題」です。整備の課題を次のように整理いたしております。1つ目、新たな広島のシンボルとして広域的な集客を図る。広島市ひいては広島県全体の活性化に繋げる。広島の魅力向上、にぎわい創出に資する。サッカーを通じた地域交流や国際交流を促進する。スポーツを通じて平和のメッセージを発信する。

次にいきまして、広島におけるサッカースタジアム本来の機能。これも各候補地の共通のものです。次のように整理しております。スタジアムの観戦環境、立地条件等は日本サッカー協会の「スタジアム標準」に準拠する。「スタジアム標準」にあるクラス1の大会が誘致可能な規模である3万人をベースとする。観客席とピッチが近隣し、観戦時の迫力や躍動感、一体感を創出する。ユニバーサル・デザイン、環境負荷低減（環境性能、低炭素等）、長寿命化、防災機能の具備は基本的要件。

続きまして、広島におけるサッカースタジアム整備の課題。これも各候補地の共通で整理を次のようにしております。サッカーの試合やイベントの無い日の日常的賑わいの創出、女性やサッカー観戦初心者にもわかりやすく、親しみのもてる施設・事業計画。スタジアムの立地環境・周辺環境に応じた適切な複合化等による収益性の確保。スタジアム整備の意義を踏まえた、適切な整備手法、管理運営手法の採択。市民の機運醸成を捉えた時宜性ある整備スケジュールです。

続きまして、各候補地におけるスタジアムコンセプト案を続けて説明をさせていただきます。まずは、中央公園自由広場・芝生広場等と旧広島市民球場跡地。当該候補地の現況・まちづくりの方向性。広島市の中心部に位置し、平和記念公園、原爆ドーム、広島城、ひろしま美術館、広島県立総合体育館など広島を代表する歴史・文化資源、スポーツ施設などが集結する地区。広島バスセンターや広島電鉄の路線と隣接しており、かつ、広島の商業拠点の一つである本通りや地下街、官公庁施設に隣接している。

【中央公園自由広場・芝生広場】歴史とともに利用が変遷（武家屋敷～軍用地～原爆スラム～公園）、広島城、「サンフレッチェ」の名称発祥。

【旧広島市民球場跡地】広島カープの本拠地であった歴史、中四国最大の商業・業務地に近接。都心の核、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の核と位置付け、都市機能の集積・強化を図る。当該候補地の立地ポテンシャル。公共交通アクセスが極めて良好である上に、今後JR白島新駅、アストラムライン新駅整備によりアクセス環境がさらに向上する可能性あり。周辺に駐車場も多く、車利用への対応も可能。既存商業集積地に隣接し、商店街との連携も可能。広島の都心部にある大規模な開発用地として大きな可能性をもつ。広島を中心市街地の活性化に資する開発の種地となり得る。サッカーに限らず、さまざまな人の出会いや賑わいの場となりうる。

スタジアムのコンセプト案としまして、広島城、美術館、グリーンアリーナ、原爆ドーム、平和記念公園、国際会議場等が集積する“国際平和文化都市”広島の顔となる都市核エリアにおける広域交流・2観光集客を促進する都市交流型賑わいスタジアム。これに従いまして、中央公園自由広場・芝生広場においては、広島城に対峙する新たな「サンフレッチェ」のシンボルとしてのスタジアム。旧市民球場跡地におきましては、広島を中心市街地における街なか賑わいスタジアムということになります。

続きまして、コンセプトの展開イメージであります。発揮すべき街づくり機能。サッカー

を通じた集客機能。町のランドマーク機能。コンサート、パブリック・ビューイング等多彩なイベントを通じた集客機能。周辺に立地する他の集客施設との連携機能。広島スポーツに関するミュージアム機能。付帯すべき施設などについて。中心市街地に立地するため、付加機能（多機能化・複合開発）は、既存集積（商業・飲食）機能との連携・相乗効果を発揮するものとする。課題や留意点としまして、収益性の確保が必要。現存の周辺商業施設とのすみ分け。原爆ドームの存在に配慮した景観形成となります。

続きまして、広島みなと公園についての説明を読ませていただきます。当該候補地のまちづくりの方向性。広島市の南部に位置し、海の玄関口である広島港、広島電鉄宇品線、平成25年度末に全線開通した広島高速3号線の出島ランプと隣接している。また、周辺には大型商業施設が集積している。宇品地区では、広島の海の玄関として、旅客輸送機能の強化や、潤いのあるウォーターフロント空間を形成する地区としており、広島みなと公園は、この地区の中心施設として、広く市民に利用される緑地として計画に位置付けられている。中四国地方の玄関港。宇品デポルトピア（宇品・出島地区賑わい創出）。メッセ・コンベンション機能に隣接。当該候補地の立地ポテンシャルとしまして、宇品・出島地区のウォーターフロントにおいて、みなとの資源や民間の活力を活用し、多くの来訪者が親しめる賑わい空間を創出するための取組を進めることとしている。みなとの賑わいづくり事業の実施。広島みなと公園から宇品波止場公園までの回遊性向上を目的としたプロムナードや案内表示等の整備やイベント開催などの取組。メッセ・コンベンション等交流施設整備（検討中）。広域的な交流拠点としての可能性。それを踏まえまして、スタジアムコンセプト（案）としまして、広域的な都市機能を担う新たな拠点、都市軸の新たな結節点、そして瀬戸内海の豊かな恵みを楽しむエリアとして、広島の新たな都市拠点としての臨海市街地を形成し、広域交流・国際交流を促進する、多機能複合型・交流型スタジアム、ということになります。続きまして、コンセプトの展開イメージ。発揮すべき街づくり機能。MICE（ミーティング、研修、会議・コンベンション、イベント等）機能。MICEを通じた広域集客機能。観光集客機能。防災施設機能。付帯すべき施設など。ホテル（宿泊施設）。飲食・物販施設。展示施設（平土間大空間）、会議場など。課題や留意点。収益性の確保。メッセ・コンベンション等交流施設整備との調整が必要。MICE事業は民間ノウハウに依存する領域が大きいいため、スタジアムとセットにすることでの事業化スキームに工夫が必要（事業手法の複雑化）。以上になります。

三浦会長

はい、ありがとうございました。先ほど最初の共通のところですね、スライドの7枚目のところの整備の意義を課題というふうに変えられたのは何か理由があるんですか。それは、後ろの方に課題があるので、説明としては間違っている。今、内容的には意義でいいのではないかと思います。

事務局

失礼しました。数字の7のところではなくて、3つ目の整備の課題のところです。

三浦会長

その部分の説明文が間違っているということですね。

事務局

すみません。説明文が間違えていました。

三浦会長

正しい説明文はどうなんですか。

事務局

整備の課題の（候補地共通）の下のところに文章がありますけれども、広島におけるサッカースタジアム本来の機能というところが、「整備の課題」となります。失礼しました。

三浦会長

広島におけるサッカースタジアム整備の課題（各候補地共通）という部分のタイトルのあるスライドの下に3行説明がありますが、その3行の説明の最後の部分ですね。原文は、広島におけるサッカースタジアム本来の機能を次のように整理すると書いてあるのを、広島におけるサッカースタジアム整備の課題を次のように整理する、ということが正しいことですので、お手元の資料をすみませんけれども、修正お願いします。

それで、まずこの各候補地共通の部分に関して、ご意見をいただければと思います。

永田委員

ちょっと教えていただきたいんですが、課題のところで2つ目の◆ですね。「広島市ひいては広島県全体の活性化に繋げる」というところで、何をもって活性化になったのかなというか、どういうかたちで、どういうイメージで、なにをもってというか尺度といいますか、スタンダードというのはどういったものなのかな、ということを教えていただけませんか。

三浦会長

具体的な議論はこの場でしていないので。

事務局

この分は、前の中間とりまとめで出されたものを共通のものをピックアップして、ここにまとめて出しております。前回たたき台で出したときもこの形で出て、要するにその時のご説明したんですけども、中間とりまとめのなかで出されたものを集約して、出しております。もちろん最初に三浦会長が言われたように、もう少し具体的なものに変更は、もちろん可能ですので、いろいろご意見をいただければと思います。

永田委員

おっしゃる通り、もちろん新スタジアムは広島市ひいては広島県全体の活性化に繋がるというのは、当然そうあるべきであって、そうなる必要があると思います。広島市自体は、都

市圏、まちづくりというかたちで重要な地域でもありますし、それを活性化につなげるというか、どういうふうなかたちで今後、我々は基準といいますか、共通の認識として、何をもって活性化に繋がられるのかなと、今後検討していかなければいけないかなと思います。また、今後検討していけばいいかなと思います。

それから、その下のところに、スポーツを通じて平和のメッセージを発信するというかたちなのですが、スポーツという部分でサッカーだけに限らず、いろいろなスポーツ、広島にあるトップス広島等、それに入らないいろいろなスポーツがありますので、トップスポーツの拠点、広島はたくさんあります。そういった部分との兼ね合いもどのようにサッカーは役割を担っていくのかなというのも1つ加える必要があるかなと思います。単純にサッカーというかたちで、サッカーというスポーツを通じて、競技のスポーツを通じてという意味合いもあると思うのですが、他のスポーツとの連携も含めてというようなイメージも今後必要なのかなと。これは今後また委員等で考えていく必要もあると思うのですが、サッカーに限らず、広島3大プロというかたちで、広響、それからカーブもありますし、8競技9団体のトップス広島、それ以外にも多数のトップスに入らない多くのトップチームがありますので、そのへんとの連携といいますか、共有というかたちで進めていくという部分もサッカースタジアムがなっていくというのが、重要になってくるかなという意味合いで是非これも委員全員で検討していく、この協議会で検討していくのも入ってくるかなと感じております。以上でございます。

三浦会長

はい。

加藤（義）委員

全体的に、サッカースタジアムが非常に強くでていて、もう少しサッカースタジアムを利用して、どのようになるのか、そういうことが重要になるというものをコンセプトのなかに。もうちょっと、課題というところの1番上の行のところを読むと、サッカーの試合やイベントの無い日の、と書いてあるところです。それを読むと、全部サッカーだけのことかと思うわけですね。イベントの無い日の、ではなくて、全ていろいろなことができるようなスタジアムを造って、いろいろな行事を組んでいこうではないかという意味合いもですね。前段の2つにはそんなトーンが少し、スタジアムを通じて、いろいろな催事、行事、そういうものができるようなものを造っていこうというのがあって、課題のところにはイベントの無い日のというよりむしろ、行事を創設していこうじゃないかというような、これを利用して、という積極的なものになっていけばありがたいです。

三浦会長

今の2つに関して、永田委員の方でスポーツという言葉に一応各種スポーツが入っていると思いますけども、スポーツ以外も含めてとことまでのご意見なんですか。

永田委員

もちろんスポーツという部分があるんですが、スポーツというのいろいろな定義の仕方

があると思いますので、広島を拠点とする多くのトップスポーツとかですね、あとはスポーツする文化とかですね、スポーツ文化とかに。まだ定義付けがこれから。まだ我々も、また全体でもしておりませんので、どのように言葉にしたら良いかわからないんですが、スポーツというあまりにもざっくりとしすぎているかな、という部分がありますので。もちろん、サッカーというのはスポーツの競技の一種でありますので、多くの競技との兼ね合いも含めてスポーツを通じて、スポーツイコールできることは平和でありますので、平和のメッセージを発信するというかたちで、サッカーに限らずというかたちで、含めていく必要もあるのかな。先ほど、加藤委員もおっしゃったように、平和であるその裏にはスポーツだけでなく、イベントができることの平和という意味もありますので、そういった部分も含めて、平和のメッセージを発信するというスタジアムの在り方というかたちの方がいいかなというふうに感じております。単純にスポーツだけでなく、そこでイベントを行ったり、各種いろいろな賑わいをつくることによつての平和のメッセージが発信できますので、スポーツを筆頭としたいろいろな各種イベント等を通じて平和を発信していく、というかたちを文言といたしますか、どのように表現したらいいのか分からないのですが、そこを必要としているのかなと感じています。

三浦会長

今のは、スポーツというかたちを大きく出しておりますけども、プラス今回のサッカースタジアムという部分を活用しての平和のメッセージという捉え方でよろしいですか。

小谷野委員

永田委員の意見をまとめると、スポーツとスポーツ文化を通じてという感じになるんじゃないでしょうか。イベントとかそういう言葉を入れるとかえって矮小化されると思いますので、スポーツ及びスポーツ文化を通じて、というくらいがいいのかもしれません。

三浦会長

加藤委員が言われたところなんですけど、それはここで書き方がサッカーの試合やイベントの無い日の日常的賑わいの創出というのが課題としているんですけども、そうではなくて、基本的には日常的な賑わいをつくるということが大きな課題であるということの意味だと思ったんですが。例えば表現として、サッカーの試合やイベントとも含めて、日常的な賑わいを生み出したい、創出したい、という課題に書いても、意向が沿ったになりますでしょうか。後ほどまた確認を画面のほうにメモをしておりますので、確認をしていきたいと思います。他には。

山根副会長

共通の課題の方ですが、整備の課題の方ですが、天然芝というのは課題ではないかと思うのですが。共通に天然芝にしないといけないんですね。

三浦会長

それは、機能のところですね。機能のところのスタジアムの観戦環境とか立地条件。この

観戦環境というのは、いろいろな要素が含まれていますので、そこはスタジアム標準に準拠するという部分で大きく入ってくると思います。

山根副会長

それで入っているんですけどね、例えばこの前の神戸もそうですが、天然芝の養生等が上手くいかないといけませんしね、それはイベント等何しようが、天然芝というものの自身がい
ろいろな障害要素になっているのではないか、あるいはプラス要素になっている、あるいは
建設のときの課題になってくる。例えば聞きますのに、今の市民球場跡地なんかは、塩が含
みますよね。塩があがってくる。地下にやってくるとね。その面で天然芝の養生にはだいぶ
しっかりしたことをしていけないといけないという要素がありますよね。そんなこともちょ
っと気になりますけれど。

三浦会長

以前、スタジアム標準というところはかなりいろいろなことが書かれていますので、そこ
については、踏まえていくということを機能としては挙げておりますので、今のことは入っ
ております。

加藤（義）委員

課題のところの2番目ですね。これ意味が非常に分かんのですね。女性やサッカー観戦
初心者にもわかりやすく、親しみのもてる施設あるいは事業計画は何のことかということが
あります。わかりやすくしてもらえたら。2行の文章の意味がわからないのが、もう少しわ
かりやすくものにして下さい。

三浦会長

ご意見ということで、今後受け止めたいと思いますが、ここでは今まで観戦したことがな
い人にも来ていただけるような魅力をつくるということだと理解しています。その辺が伝わ
ないということでしたので。

川平委員

事業計画というのは、分かる。施設。

三浦会長

ちょっとその辺は、今ご意見をいただいたことで。

塚井委員

確か最初の頃に、その地区の整備の方向性、まちづくりというテーマ関係を高木委員がお
っしゃっていましたが、そのような議論があったように思うんですが、整備の意義のところ
はわりと広域の話になっている。つまり、場所はそれぞれちょっと違いますが、例えば宇品
地区のまちづくりとか、別にそれだけを考えてスタジアムを造ればいいわけではありません

けれども、地元の近くの環境とも整合するといったようなことが、議論にあったように思うんですが、広く読めば、広島市ひいては、と読めるんですけども、なんとなく先ほどの議論にありましたように、この整備の意義のところの、永田委員からも指摘がありましたように、魅力向上、にぎわい創出に資するというのと、1番目と2番目の差がよく分からないので、これは意見ですけども、地区の整備計画との整合性とか、活性化に資するというような言い方もあっていいのかなというふうに感じます。以上です。

三浦会長

確かにそうです。それぞれの具体の案のコンセプトとなったときには、その候補地におけるまちづくりへの方向性というのを示したうえでコンセプトをお作りしておりますので、それをそもそもするということが、その地区の整備の方向性に合致しているし、あるいはそれをさらに高めるんだということがあると思いますので、そこはここに加えていいと私も御意見を聞いて思いました。

小谷野委員

よろしいですか。では、塚井先生との問題意識と同じになりますが、結構1番目と2番目でダブっているんですね、実は。それで、この広島市ひいては広島県全体と断わっているのは、新しくできたわけですが、これまでこの協議会の中では広島広域都市圏という言葉だったり、今回の業者選定ということに関しては、調査業務の仕様書ですと、広島都市圏という言い方があったりしてですね、言葉がだらだら出てくると思います。恐らく、この2番目のところは立地地域と広島都市圏の活性化に繋げるとかですね、そういう言い方がこの前の議論と整合性がとれているのかなと思いました。

三浦会長

はい。ありがとうございました。その他なければ、事務局の方で今メモしたものを確認をしたいので。

活性化に関してはこの文面としてはそれ以上詳しくは書けないと思いますので、今後の検討としてやっていくんだという方法でいいと思います。

それから3つ目については、ご意見がいろいろあって、スポーツとそれだけでなくて他のものを含めてということでしたので、4番目のところにスポーツ及びスポーツ文化を通じということにすればかなり広がりがあるということでしたので、そういうふうに修正をすればと思います。

それから賑わいに関していっても、やはり賑わいをつくるのが最初に大事ですので、文章として今書いてある課題はやや消極的な面もありますので、そこも修正するというです。天然芝についての意見もありましたけども、これはスタジアム標準というところのなかであるということですので、それに集めたいと思います。

女性のことにしても先ほどありましたように、事業計画まで入れると分かりにくいということで、文面として意図が伝わるように修正を、メモがありますけども、していこうというふうに考えます。

それから各候補地で、それぞれのまちづくりの方向性、計画等との連動性ということも入

れておくということですね。

それから、最後にこれまでの議論からするとその地域と広島都市圏というレベル。どこまでするかですね。広域都市圏とする場合は更に広がりがありますので、イメージとしてはどちらが近いですか。

小谷野委員

調査仕様書等は広島都市圏と言っておりましたけども、広島県でもいいかもしれませんね。

三浦会長

広域都市圏にすると山口県の部分も入ってきますよね。確かに、集客の部分を考えてとそんなイメージをした方がいいかなと思いますが、ベースは私たちがどこからお話をいただいて、今検討しているかということになると、山口県まですると、ちょっとこれは越権かなという気がしますので。

小谷野委員

これは本当意思統一というか、言葉の統一の問題だと思います。

それとですね、よろしいですか。本来の機能のところの第4点のところ、ユニバーサル・デザインとありますけども、ユニバーサル・デザインは我々がスタジアムを造りますとって、普通施工か何かお願いするときにはユニバーサル・デザインというような話がありますけれども、スタジアムを我々が市民県民のために造るのであれば、ある種当たり前というかですね、ユニバーサル・デザインのことがいきなりここに出てきたのはちょっと違和感があるということと、内外のスタジアム施設をすると、デザインの話をするとですね、ユニバーサル・デザインというよりも先ほどのスタジアムのいくつかの要件がありますけども、ホスピタリティ機能というのが、ユニバーサル・デザイン以上に強調されているところがありますので、1番最初にホスピタリティ機能とくるとちょっとどぎついかもしれませんが、ユニバーサル・デザインの代わりにホスピタリティ機能という言葉をごどこかに入れた方がいいのではないかと。

それから、ここの4番目の項目のどこかで、先ほどの西飛行場の議論等の絡みもあるんですが、大量輸送を可能とするアクセスというのも、一文入れておいた方がいいかなと思いました。

三浦会長

今、ご指摘があったところで、私も意見があったんですけども。というのは、まず上2つは非常に大きな話ですね。ですから、大きい部分ですのでそれがあって。それから私たちも実際にスタジアムに見学に行ったときにも、そのための項目もやはり今回新しいものを生み出すのであれば、必要だろうということになります。

ただし、今ご意見があったユニバーサル・デザインとか環境負荷低減というのは、ちょっと同じ並びでは強すぎると思いますので、レベルを1つ下げての表現にしておいた方がいいかなと思います。上3つとですね、同じ並びということではないと思います。個別ですよ。ユニバーサル・デザインもそうですし、ホスピタリティ機能にしても同じです。環境負荷低

減、それぞれのいろいろな手法との絡みがでてくるところです。ただ、その上の2つは特にそもそもどういうふうな機能を持たせたいかというような記述ですし、3番目も今回新たに生み出すという私たちの気持ちを表現しているところですので、そこはちょっと分けて表現をしておきたいと思います。

加藤（義）委員

課題のところですね、3つ目のところになるのですが、収益性の確保というものがあるわけですね。収益性の確保というのは、なんでここへ収益性の確保が狙いで課題となるのかなと思うのですが、もうちょっと表現を変えて、やっぱりスタジアムについてアミューズメント機能も出したり、いろいろしながら人を集めて、そのためには、コストと収益性のバランスというのが1つの課題だというふうにしてですね、収益性の確保だけをテーマとして、ポンと出さない方がいいのではないかと思います。

三浦会長

B/C（費用対効果）な考え方ですね。当然そこで生み出される便益とコストとの兼ね合いになると思いますので、ちょっとその表現を考えたいと思います。では、とりあえずここについては以上のご意見を受けてまた検討することとします。

三浦会長

では次、中央公園自由広場・芝生広場等、旧広島市民球場跡地のコンセプトについてでした。では私の方からですが、まず全体として見たときに、それぞれまちづくりの方向性それからポテンシャルを踏まえてスタジアムコンセプトが満たされていますが、そのコンセプトから発揮すべきまちづくり機能として挙げているところの結びつき・関連性がはっきりコンセプトと繋がっていないようにも思えました。例えば最初の中央公園自由広場のところですけども、ここで言っているのは広域交流とか観光集客を促進する都市交流型賑わいスタジアムということですね。そうした場合にはということで、いくつか発揮すべきまちづくり機能を挙げておりますが、サッカーを通じた集客機能。これはどちらにおいても必要なことだと思いますし、街のランドマーク機能であったとしても、これも別のみなと公園でも必要なことだと思います。あるいは、コンサート、パブリックビューイング等多彩なイベントといっても、これも特段ここでなくみなと公園でも可能な部分です。と思ってくると、コンセプトの大もととのつながり。ここで言うと、“国際平和文化都市”広島顔となる都市核に造るということで、どういう機能を発揮するか、という部分をもう少しフォーカスをしないといけないかなと。ちょっとそのへんは、考えていけないと思います。

一方、同じように広島みなと公園のところだと、ここでのコンセプトというのは、この場所に対して、高速道路の整備等もありますし、海洋交通等、そこで海の玄関口という場所。あとは、広島という都市を特徴づける海とのつながり、そういった場所に造ることによって何ができるかということがコンセプトとなっていますので、そうしたときにその辺を、今書いてあるのはほとんどMICEのことですね。どちらかというとここで書いてあるのは、付帯してできるような機能であって、そこにスタジアムを造ることそのものによって生み出されることになっていないということがありますので、ちょっとまだここは詰めていけないといけな

いかなと思います。今、具体的に何がというのはちょっとすぐには出ないのですが、今のこの並びは、コンセプトを反映した発揮すべきまちづくり機能というふうには十分になっていないと思いますので、今後考えないといけないと思いました。

その他に個別で中央公園の方からになりますけども、ありますでしょうか。

川平委員

中央公園と旧市民球場跡地、これは都市公園法の制約があるんですよね。その都市公園法の制約と付帯すべき施設の関連といいますか。例えば商業・飲食機能のあたりを自由にここには造れるんですかね。この場所には。そこらはどうなんでしょう。都市公園法の制約があるなかで、付帯機能というのが自由になんでもできるんでしょうか。

だから、要はコンセプトをいろいろ考えるのはいいんですけど、元々そういった制約があるものだったら、造れなくなる。そういった制約があるかないかだけは押さえとかなないと、コンセプトとして言えないかもしれないということで聞いたのですけれど。もし、分かればということです。

小谷野委員

私が言うのもなんですが、神戸の視察にもありましたけれど、あそこも実は都市公園法のなかで運用されておりまして、いわゆる貸会議室ですとか、結婚式場それから運動に付随するフィットネスとかですね。それから貸会議室とかも制約なくできる。ただ、飲食店とかですね、そういうそのものずばりというのはダメなんですね。あくまでも、この地域住民の健康増進とか文化的な活動とかそういうのに資するものであれば、都市公園法の枠組みのなかでは、比較的制約が少ない。ただ、いきなり飲食店だけみたいなのは駄目。平日複合施設は良いけど、単によく分からないイベントスペースというのは駄目とかですね、ある程度スポーツとか文化にフックがあるものをやっていくということになると思います。

川平委員

そういうことなんですよ。だから、私は説明したのは、先ほど申し上げたようにコンセプトとして描いたものが現実になったら造れないというふうになったら、となるので。ここで私が思ったのは、既存集積機能との連携・相乗効果を発揮するものをイメージする。具体的には、どういうイメージになるかなというのが疑問に思って、それが都市公園法というのがあったので、そのなかで制約があるのなら、それを一応前提として考えていかないかなというふうに思ったんで、申し上げました。

小谷野委員

ですから、私はむしろここは文化・芸術・音楽等のエンターテインメント機能とかですね、あるいはみなと公園とダブりますが、MICE機能とかですね、健康増進施設とかですね、かなり明確に書いた方が私は良いかなと考えます。

川平委員

できるものを書くしかない。

三浦会長

ちょっとすみません。今のところで、付帯すべき施設、中央公園のところに書いてあるのは、書き方として考慮事項、考慮すべきことだという書き方になっていますけど、それは当然踏まえた上で、それを超えてこういう施設を造ると元々のコンセプトにつながるんだというものを挙げた方がいいということだと思いますし、その他に具体としては今、文化・芸術あるいはエンターテインメントの機能が挙がりましたし、M I C Eもここでできるのではないかと、あるいは健康増進等にも関わるものも可能だろうという意見がありましたので、その辺をやはり具体的な付帯すべき施設として、展開イメージとして造っていくべきだというご意見だと思いますので、また次回には反映をさせていきたいと思います。

加藤（義）委員

私は、全般よくまとめられていると思います。1か所だけ、古いことを知っている年寄りとして。1番左上の左端、当該候補地の現状・まちづくりの方向性というのがありますね。その3つ目の段落。そこに原爆スラムとかいろいろ書いてありますが、こういう修正をしてやるとスマートになるなと思うんですが、武家屋敷などはいいのですが、軍用地というのはですね、どっちかというとな国有地なんですね。国有地のあそこには護国神社があったんですね。護国神社前の広場があって、その広場にはいつもサーカスが来たり、それから大相撲が来たり、テントを張って、お祭りがあったり、人が使う場所だったんですね、護国神社の前を。ちょうどあの位置です。そういう意味では、ここは国有地であり、護国神社があったんですね。そしてその広場で、いつもいろいろな催しをやっていたということが、人が集まる場所であったというふうなことが、原爆スラムまでの事項までに入れ替えてもらったら。原爆スラムというのは、護国神社の裏の方の土手の方で、あんまりここは極端にクローズアップしたいとは思いませんけれども、やっぱり護国神社は神聖な場所で人が集まっていたんです。ここはいっぱい。そういうことを検討してもらえないでしょうか。

三浦委員

はい、ありがとうございます。

永田委員

ちょっと分かりづらいとこなんですが、スタジアムコンセプト案というかたちで、Jリーグの提唱するというかたちで、コンセプト案のところに2つの箇所両方ともですね、2とか5とか6とかあるのですが、これ見方によっては6でもあり、見方によっては5でありというかたちなので、これをあえて入れる必要性はあるのかなという感じはします。

それからですが、既存の類似スタジアム、両方とも海外もので、確かに海外のものも必要だとは思いますが、ちょっと分かりづらいと言いますか、国内のものでは何かないのかなと。例えばですけど、街中というものであれば類似スタジアムではあると思いますし、例えばM I C Eというコンセプトのものが国内ではない、というのであれば日本で最初とかですね、そういった言い方の方が逆に分かりやすいのかなというふうなイメージもあります。

それから、課題や留意点のところで先ほどいろいろな委員から話があったように、収益性

の確保が必要なのは当然どちらも同じであって、それだけではなく、例えばみなと公園であれば防災拠点になっている際の国への補助金の返却額等が分かればここに書く必要があるとかですね、留意点という部分が必要となってくるかな。要するに、決まったら建てようというところにするまでに、課題という部分でどういったものがあるのかな、金額としてはどのくらい返却しないといけないのかな、といった部分をみなと公園に書く必要があるのかなというふうに思います。以上です。

三浦会長

収益性に関して言うと、どちらにもあるという点と反対に共通だということですので、ここに挙げるとおかしいということですね。おかしいというよりは、当然ですから、共通事項に必要ということですね。

それから、みなと公園の方にご意見ありましたが、現在の防災拠点機能というものが一部失われたときに、それを造る際に要した事業費に関連するお話がありましたので、金額まではここに書くことではないと思いますが、課題としては確かにあると思います。そちらの方にもご意見が移ったので、みなと公園の方で何かご意見ありますでしょうか。

山根副会長

ちょっと芝生のことで、天然芝をするということなんですよ。どれだけ使えるのか、何の制約があって、どれくらい。要はこの試合自身では12カ月分の1カ月くらいしかプロとかそういうものでは使いませんよね。それ以外に12カ月分の11カ月空くわけですよ。そういう意味でこのピッチが空きますよね。そこでいろいろなイベントをするということでも話がどこまでできるのか、何ができるのか。芝の養生とかそういうものの期間とか、あるいはやれる範疇のものとかが共通のものだから、私は課題ではないかなと私は思っていたんですけどね。

それで、その複合施設の関連もそれに影響しますよね。結局ピッチがほぼサッカーとその関連みたいなものでしか使えないのではないかと思います。それ以外にどこまで使えるのかということが私には分からないのですが。

三浦会長

今ご意見いただいた部分は、先ほどスタジアム標準のことを私も持ち出したのですけれども、当然そこにもあることだし、具体的に考えるときにはやはり今の事業性等の話で出てくることだと思っています。他に。

加藤（厚）委員

ちょっと表現が分かりにくかったんで教えていただきたいところがあるんですけど、みなと公園のスタジアムコンセプトのところで、広域的な都市機能を担う新たな拠点、都市軸の新たな結節点という部分で、瀬戸内海の豊かな恵みを楽しむエリアというこれもどういうことかなというのが、ちょっと分かりづらいんですけども、このあたりの説明をしていたきたいと思います。

三浦会長

事務局の人はサポートしていただくということから説明できれば。

ちょっと私が説明するのはあれなんですけども、恐らくというところで。今考えられているのだと思いますけど。広域的な組織機能を担う新たな拠点というのは、このみなと公園を含むエリアそのものが、大きな広島市の計画のなかに位置づけされているというところを踏まえて、の表現だと思いますし、都市軸の新たな結節点というのは、東西方向でいうと今回の高速道路ですね。それから、南北でいったときには、海からの入口、それから当然中心部、それから北部からの南北軸もここにつながっていくということの位置づけですから、そういうふうな重要な場所であるということですね。ただそれは、その次に書いてあることが反映されていないので、あえて海とのつながりがある場所だということを加えた、というコンセプトになっていると思います。ですから、まちづくりの方向性のなかでの、この地区の位置づけをさらに高める、プラス内陸部でなくて、沿岸部に造ることがコンセプトになるだろうということで挙げてあるというふうに想像しています。

加藤（厚）委員

そこで一点分からないのが、海とのつながりというのは重要なのでしょうか。

三浦会長

そこは、例えば中央公園側でいくとそこである広島の顔ということがありますね。都市核エリアというなかで何を造るかということと対比したときに別のコンセプトを挙げるとなると、ここはやはり海とのつながり。多分ここはコンセプトを挙げると、今後のスタジアムをデザインをしていくときには、そういったものを上手く取り入れた造り方につながるのではないかと思います。

塚井委員

これ、恐れらく時間がないなかで、一生懸命まとめられたのだと思うんですけど、確かに最初に会長がおっしゃったように、両方見比べていくと元々にある意義と機能と課題との関係性というのもなかなか難しくなっているんですが、例えば、中央公園広場のところの話で見たときに、まちづくりの方向性というのは、ここが当該候補地の現況という書き方が良くないのかな。何かその場所のなかのこういう話と、周辺がどうなっているかという話とが、結局のところごちゃごちゃになって出てきているので、当該候補地のまちづくりの方向性。最初の一文はまだいいんですけども、例えば宇品地区がメッセ・コンベンション機能に近接と、こう書いてあって、その後にMICEをするんだという書き方がしてあって、既存のものがもちろんないわけではないのかもしれませんが、対比をして、比較できるような読み方ができるかどうか。同じような項目を1番目の項目は同じようなものを書き、2番目の項目は同じようなものを書き、というふうな横節で中央公園広場とみなと公園の最初に出てくるもの、2番目にでてくるものを比較したときに、同じでないものが混じっているように見えるんですね。それが2つを見比べたときに出てくる違和感で、立地ポテンシャルは基本的に、例えばアクセスの話を書くならば、アクセスの話を書くで良いと思うんですよ。その困難なところを含めて、良いところも含めて書くと。そういうふうにしてしまえば、

立地ポテンシャルは非常に広い言葉なので、アクセスだろうが、立地の可能性があるものだろうが、その施設を具体的に何ができるかというようなことであろうが、入れようと思ったら入らなくはないんですね。その意味で、表題と中身のところを意図的に色分けする。立地ポテンシャルという言葉が良くなければアクセスというかたちに直して良いかもしれませんが、なにかしら差がもうちょっとはつきりつくように変えておかないと、それぞれを読んでも、ちょっと混乱するのかな。これが1点目です。

2点目は、先ほども問題になった、議事録では問題にならなかったところ。4番目スタジアム・コンセプトのところに、各候補地の制約条件をきちんと整理すること、制約条件を前提としたうえで、良さを出す議論をすべき、これは合意されているわけで、その部分が、これもまさしく一番最初に小谷野委員から議論がありましたように、制約条件というハコがあってもいいような気がするんですよ。神戸の事例からみれば、先ほど小谷野委員が補足してくださったように、こういうものはできます、しかし、例えば飲食店を裸で造るのはダメですよ。というような話が分かりやすいので、それはおそらくこの都市公園法にかかる話であって、宇品はどうか分かりませんが、宇品にその条件がないのだったらないと書いておけばいいのであって、例えばそういうようなまとめ方がしてあると、今、私の話は立地ポテンシャルの話も、それから発揮すべきまちづくり機能というところも両方重なるような気がするんですけど。例えば、ここを制約条件というか、どんなことがありますかということのを淡々と書いて、その元で例えば、付帯すべき施設というか付帯することができる、例えばですね。そういうような書き方にしてしまえば、何が具体的に出来そうか、あるいは逆に出来ないものとか無理なものも書けるなら書いてもいいかもしれませんが、そういうようなことで、まとめていくと、ちょっときれいになるのかな。あとは他の委員がおっしゃったように、共通するものをあえて書く必要はあまりないでしょうし、それはむしろ、もし今の段階で思い出したものがあればですね、副会長がおっしゃたように芝生のことはやっぱりどうしても、重要であるということであれば、これは前にやはりスタジアム標準についてカッコして、特に芝生などとか、もし書きたければ加えると。そういうかたちで共通するものは整理しておきたい。それはみなと公園だって、芝生の問題は出てくるので、良いか悪いかということのを共通して議論すべきことを前に入れ、その元で後ろに、というように。今はまだたたき台になっていますので、若干読みにくいので、そのあたりの整理をもうちょっとしていただけると、非常に読みやすいものになるのかなと思います。

すみません、長くなってしまっ。以上です。

三浦会長

今、言われたように、現況とまちづくりの方向性、それから、その前にある制約条件等を、やはり再度整理と、それからそれぞれの候補地で対比できるようにすべきだということですし、そんなふうに思いますので、そこは次回までに整理をしておきたいと思います。

それから、現段階のコンセプトの展開イメージについては、どうも十分にコンセプト全体として反映をできていないところがありますので、これらについてもそれぞれご意見についてメモをとっておりますので、それを踏まえてやっていこうと思いますが、一度確認をしたいと思いますので。

中央公園の方ですと、最初の部分ですね、コンセプトの関わり、それから天然芝のご意見

がありましたので、これはやはり先ほどのスタジアム標準がありますけども、その部分については、中の表現を引用するかなにかして、もう少し見るべきだということだと思います。

それと、まちづくりの現況あるいは過去のことで、表現があまりふさわしくないという部分がありましたので、そこについても表現をちょっと変えるということをしたと思います。

この辺、先ほど制約のことですね。制約条件については、さっき私が言いましたように、まずは示すということにしたいと思います。

このＪリーグの部分については、今のなかでもちょっとおまけ的になっていますし、あえてということでもないので、削除してしまってもと思います。よろしいですかね。先々どこかで対比をしてこれもできるなということがあればいいと思います。これは先ほどあった部分ですね。これは加えるということです。

収益性は共通事項へということです。スタジアムについても国内事例がもしあればより分かりやすいので、それは探してみるということです。以上です。

こちらがみなと公園の方ですけれども、都市軸云々の部分が、その他の資料等がないと分かりにくかったということですから、ちょっとその辺の表現も事務局とも相談をして考えたいと思います。

対比できるようにと先ほど言いましたように、それぞれの候補地が、どのような状況なのか一目で分かるように対比できるかたちで表現をするということですね。

コンセプトですけど、こちらはやはりコンセプトというものと各機能とは十分な結びつきがない状況ですから、そこも詰めていくということです。

あとは収益性、天然芝等は共通で必要なものです。防災拠点のこともご意見ありましたがそれはちょっと今の制約条件の方になるのかなと思いますが、ちょっとその辺とも兼ねて、どちらかで表現すべきだと思います。

以上、振り返りましたが、さらに何かありますか。

加藤（義）委員

天然芝とピッチの問題は、いろいろなところで、国立もラグビーをやったり、またいろいろフットサルをやったり、大宮もこの前いろいろな子どもたちの行事で使っていますし、少し事例を集めてもらったらありがたいですね。整理されてくると思います。

三浦会長

ありがとうございます。

ですので、それらを踏まえて、ちょっとまた次回に向けて内容を詰めていきたいと思いますし、協議会までにある程度出来たら、皆さまの方にお見せをしてご意見をまた事前にいただければと思います。

それでは、次の部分ですが、次にいきたいですが、アンケート調査に関してです。資料３をご覧ください。では、事務局の方で説明をいたします。

事務局

失礼します。資料３のサッカースタジアム整備の検討に係るアンケート調査の実施についての案でございます。１ 目的。サッカースタジアムに対する市民（県民）意識の基礎調査

を行うとともに、サッカースタジアムの整備を検討する際に、市民（県民）が重要とする視点を把握することを目的として実施する。2 調査結果の活用方法。調査結果は、最終的な候補地の絞り込み・評価の際の参考資料とする。3 アンケート調査の留意点。分かりやすく、公平・中立で客観的な質問内容とする。回収率を上げるため、問いは必要最小限とする。候補地の詳細が明らかでない段階であるので、どの候補地がよいかという問いは行わない。4、アンケート調査の内容。(1)基本項目。性別、年齢、居住している区。(2)サッカーに対する意識の基礎調査。ア、サッカーに関心があるかどうか（関心のある人となない人のクロス集計に用いる）。イ、試合観戦経験の有無。(3)サッカースタジアムに対する意識の基礎調査。サッカースタジアムの整備は市の活性化につながるか。（サッカースタジアムの必要性）(4)サッカースタジアムの整備を検討する際に重視する点。アクセス性、コスト性、発信性、付加機能、経済やまちづくりへの波及効果、牽引性等。（協議会において、最終的な候補地の絞り込み・評価を議論する際の参考資料とする）5、アンケート調査の対象。広島市に在住する男女（18歳以上）を区毎に無作為抽出。6、アンケートの規模。(1)調査者数（発送数、2, 540）。(2)要求制度、全体の標本誤差を3%以下（信頼水準95%）。(3)標本数、上記精度による必要標本数、1, 066。(4)回収率（見込み）、42%（広島市のアンケート調査を参考）。(5)調査方法、郵送調査法。標本数と標本誤差について、通常のアンケート調査は標本誤差5%として、標本数を決めることが多い。標本誤差5%の場合、例えばサッカーに関心のある人の場合が50%という結果のとき、その数値は母集団の45%から55%の中にある確率が95%（信頼水準）というものである。本件の場合、精度の高い標本誤差3%を用いることとする。7、アンケート調査の時期。アンケート調査、平成26年8月上旬から中旬（2週間程度確保）。調査のとりまとめ、平成26年8月下旬。

続きまして、広島にふさわしいサッカースタジアムに関する調査の案でございます。問1、あなたはサッカーに関心がありますか、（○は1つ）。1、関心がある。2、関心がない。3、どちらでもない。問2、あなたは、サンフレッチェ広島の試合をエディオンスタジアム広島（広島広域公園）において観戦したことがありますか、（○は1つ）。1、観戦したことがある。2、観戦したことがない。問3、あなたはサッカースタジアムが整備されることは、広島市ひいては広島県全体の活性化や魅力向上につながると感じますか、（○は1つ）。1、つながると思う。2、つながらないと思う。3、わからない。問4、あなたは、サッカースタジアムを整備する際、何を重視すべきだと思いますか。下記のアからサの中から5つまで選んで、ご記入ください。ア、行きやすい場所にあるスタジアム。イ、広島のシンボルやランドマークとなり、他の開発プロジェクトとの相乗効果などによって広島の発展を引っ張っていく存在となれるスタジアム。ウ、広島を印象づけることができるスタジアム。エ、サッカーを行う場としての機能だけでなく、レストラン、ホテル、ショッピングモール、オフィス、スポーツジムなどの機能を持つことや、スタジアムを核として周辺の開発が見込まれるスタジアム。オ、災害時に周辺に住んでいる人や働いている人の避難施設としての機能をもつスタジアム。カ、周辺のホテル、商業施設等との連携がしやすいスタジアム。キ、広島の経済やまちづくりへの波及効果の大きいスタジアム。ク、整備費、運営・維持管理費に投入する税金の額が少ないスタジアム。ケ、整備に係る課題を短期間で解決でき、建設が容易で、工事が短期間でできるスタジアム。コ、上記以外。サ、特になし。

最後のところは、少し質問でサッカースタジアム整備に対するご意見があればお聞かせく

ださい。最後にあなた自身のことについておたずねします。性別、年齢、お住まいの区を教えてください。（それぞれ○は1つ）。ということで、性別については、1、男性。2、女性。年齢については、1、10代。2、20代。3、30代。4、40代。5、50代。6、60代以上。お住まいの区、1、中区。2、東区。3、南区。4、西区。5、安佐南区。6、安佐北区。7、安芸区。8、佐伯区。以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。ということで、この調査表を返信用封筒に入れ、平成26年○月○日○曜日までにご投函ください。こういったかたちで送付をいたします。予定です。

三浦会長

はい、ありがとうございます。

前回、具体的な調査の項目が出ていませんでしたので、今回はそこにご意見いただくことになると思いますが、全般、内容等含めてご意見いただければと思います。

小谷野委員

この問2と問3の間に、サッカーをスタジアムで観戦したいですかみたいな問いがあってもいいのかなと思いました。サッカーに関心がありますかどうか、という問いに含まれているのかもしれませんが、サッカーへの関心とスタジアムに実際行くかどうかというのとは、入れた方がいいと思いますね。それで、その次にスタジアムで観戦したいけれども、行きづらいと思っていますか、という質問をその次に設けて、それで、「はい」、「いいえ」で、もし「はい」と答えた人には、行きづらい理由を教えてください、というので、選択肢を用意せずに、行きづらいと思っている理由を書いてもらう。例えばアクセスの問題なのか、スタジアムの雰囲気なのか、交通費の問題なのか、それは分からないですけども、そこをあえてわれわれとしては、選択肢で誘導せずに、行きたいけれども行けないと答えている人に対して、どういう理由でスタジアムに行かないのですかというのを、聞いてみるというのは良いと思います。もしかしたら、サンフレッチェの努力不足で試合日が分からないみたいな話なのかもしれないし、それは実際に生活している人の目線で、なんで行きたいけれども行けないのかというのは、聞いてみるというのではないかなと思います。

それから、問3のところ、「わからない」とありますけれども、ここは本当にわからない人もいれば、スタジアムの使い方次第でわからないという人もいると思うので、問3の3のところは、「わからない・使い方次第」みたいな言い方をすれば、より選ぶ人は選びやすくなるのかな、と思います。

それから、問4のところのエのところ、いくつかの複合機能の例示がありますがけれども、先ほど川平委員からの質問に私はお答えしたのに関連するのですが、エンターテインメント機能というのは結構大事なのかなと思いますので、レストラン、ホテルの後にですね、劇場・ホールというのをに入れていただけるといいかなと思いました。以上です。

三浦会長

はい。まず、問1と問2の間にスタジアムで観戦したいかどうかという部分は質問としてあってもいいかなと思いました。ただ、その後の部分ですね。現在のエディオンスタジアムのことを念頭において質問するのは、今回そこは全体としての調査の意図とはちょっと違う

のかなと私は思います。そこをどう使うかは、反対に今後の私たちは現状のことを踏まえた上で、評価する段階で、いろいろなデータ分析をしてすることだと思っています。

それから、問3に関しては、それを入れるとかえって混乱しないですかね。かえって「わからない」は、ない方がいいかなと思います。調査表を作るときには、どっちつかずの選択肢は基本的には設けない方がすっきりして、いいと思いますが、「わからない」を削ってもよろしいですか。やはり「わからない」人の方が多いですか。そこは単にサッカースタジアムでサッカーをそこで試合をしてくれることそのものでは弱いということですね。現状でもあるから。

小谷野委員

そのままでもいいですけどね。ただ、使い方次第ということも含めての「わからない」ということだと思うんですね。

三浦会長

ちょっとそのへんは検討したいと思いますが、できれば今回一応素案として固めて、その後修正案を皆さまの方に確認をしていただいて、先ほどスケジュールの説明がありましたけども、来月早々にはしたいと思っています。

それから、エのところに関しては先ほど言われた部分で、今ざっと挙げてありますけども、候補地それぞれで、出来ないことまで入るとまずいと思いますので、その辺も踏まえて、個別あるいは先行事例としてあるもの等を考えての表現に修正をしておきたいと思います。

加藤（義）委員

一つは、この前ちょっと提起しました標本数の問題ともう一つはこのアンケートは何の目的で私たち協議会がこれを行わなければならないのか、というのをもう一度お話をしておかなければいけない、その二つです。一つはですね、私たちの住んでいるコミュニティ、町内会で、だいたい今65世帯いて、130人余り住んでいる。それで、エディオンスタジアムに行ったことがある人はアジア大会以降から言えば、10人くらいはいるかもわかりませんが、サッカーを観に行ったことがある人、サッカーといたら、数人しかいないですね。それくらい、今のエディオンスタジアムに行ったことがあるか聞いてみると、極めて少ないんです。そういうことを考えてみたら、もう一つ例を挙げると、広島市民球場が155万人年間入って、すごいけど、ある意味ポイントで阪神戦とそうでないときと全部実態調査をしたんですね。それでいくと、やっぱり阪神戦のときには、広島市民が30%弱です。あとは県外から来る人が4割から5割。だから、県内の広島市外から来る人がその残り。阪神戦以外のときに調査したら、19くらいで、20%弱が広島市内から行っている。県外から来たのは、やっぱり40～50%ですね。そういう評価からみて、今のここに広島市のアンケートをとろうとする対象のなかに、サッカーに行ったことがある人、あるいは興味がある人がどれくらいいるかですね。例えば、今人口が118万人ですか、広島市内で。それで、高齢化率、18歳以上となっていますから、18歳以上でなおかつそのなかで高齢化率が22.5%で、それで18歳までの人がどれくらいいるかという話を考えてみてですね、なおかつサッカー場に行ったことがあるかとなると、今小谷野さんが言われたように、行ったことが

ない人は、どちらでもない・分からないということが多んじゃないかと思います。それは、社会常識として新聞やいろいろな社会の勉強をしている人なんかは常識的な判断をすると思っていますけれども、例えば子どもたち、若い人たち、年寄りもほとんど今のところは、8時を超えたら行けませんからね、今のところ。だれか保護者がいないといけないので。ほとんど来ないです。そういう面から見ると、ここの設問も、問4の中に行きやすい場所にある、行きやすい場所にあるスタジアムが欲しいとか、ランドマークになるとか、ある程度常識的には判断してくれると思います。印象づけることはできる。それはいいね、サッカーを行う場所いろいろありますね。ア、イ、ウ、エ、オぐらいまではできると思うんですけど、やっぱり後の周辺のホテルがあるとか、商業施設があるとか、広島経済やまちづくりへの波及効果の大きいかどうか、それから、整備費・運営費とか税金の額が少ないか、投入する税金の額が少ないかとかいう話はですね、その行ったことがある人のなかに、こう聞いてみても、ほとんど答えがこないと思うんですね。こういう設問は、よほど中心的に青年に聞いて、何もかもが分かる人に聞かないと、これはむしろ行政が考えないといけないことだと思うんですよ。だから、スタジアムにファンとか市民に、今回の調査は、ファンではなしに、市民の声を聞くわけですよ。市民の声はやっぱりある程度我々ができて、こんなイメージのものを造りたいという提案がでてきた。じゃあ、それについて、市民の声はどんな反応かというのは、あとで行政が聞かれるのは、これはしょうがないですね。それはもう避けられない。今の段階で、ここに設問があることについて、我々がとり入れるべきデータを何があるかですね、やっぱり今行ったことがありますか、どうかでいったら、数パーセントくらいでしかないと思うんですね。そういうなかで、この設問をとって、あと何に使えるのかなど。それから今、標本数1,066で、理論的には良いんだとこうなっていますが、非常に論理的に、私は納得ができないところですね。1,066個の標本のなかで、1割といたら100個ですね、そのなかに行ったことのある人に意見を聞いたりして、一体何に使えるのかと。ここにある設問については、私たち、こうして学識経験者とか、学識がありませんが経験者とか、大学の先生がここに集められたのは、とにかく市内に造ろうじゃないかと、造るんだしたら、どんなものを造ったらいいかというのが命題で、一旦事務局に協議会ができた頃のおさらいをしてもらいたいと思うんですが、ここで市民の声を、こういう程度のことで聞くのは、どうかと思うんですね。協議会がこれを作らなければならないのかどうか、ということについては、私はちょっと自信がないところです。ですから、ここのところはよく考えないと、本当に答えが、小谷野さんが心配したように、わからないということと、なんか無責任なことがいっぱい出てくるんじゃないかと。

あと、それが出てきた結果、私たちはどう使うかということになると思う。変な話、協議会なんかいらなくなるわけですよ。だから、そういうことにならないようにこの設問はしっかりもうちょっと考えて、行ったことがない人が9割もいたよということだけが分かっただけで終わってしまうようなことになりはしないかという心配があります。本当にいろいろ、どこにも聞いて、行ったことあるか、エディオンスタジアムにと聞くと、行ったことがない、サッカー観に行ったことがないという人が結構多いわけですね。今の広島野球場だってそうです。まだ行ったことがない人もいっぱいいるんです。やっぱり、あれだけ入っても、せいぜい2割が広島市民ですからね。市民だけに聞いているということに、この40万人の署名をどう反映させるかという話は非常に疑問なんです。もし、もうアンケートとろうと進めた

なら、それなら非常に簡単に子どもでも答えられるような、年寄りでも答えられるような簡単なものにしておかないといけないんじゃないかな、と。この設問の間4は、ちょっと広すぎると思います。

三浦会長

まずは、標本数に関して言うと、やはり通常のこういった調査に使われている以上の精度で数を選んでいきますので、私は問題はないと思います。

それから今ご意見のなかで、関心がない人と関心がある人で、関心がある人にしっかり答えてもらわないといけないというご意見でしたけども、それはそもそも今回のこういった、広く市民の意見を聞くということにそぐわないことになりますね。全体として、どういう状況にあるかを知ることになりますので、特定のターゲット層だけの意見を聞くということではないと思います。

ただその一方で、今言われたように、ほとんど関心をもたれていない方に、問4の質問は重いんじゃないか、ということが、確かにあると思います。ただ、説明を長くすると余計難しくはなるのですが、表現をより理解しやすいようには、出来るかなと思います。ただやはり、市民からの意見は広く聞くべきだと思います。

加藤（義）委員

10か所に1か所候補地があって、その中の3か所ぐらい選ぼうとなると、来やすいところが良いか、というのは聞いてもいいと思います。ですけど、今は2地区に決めているわけですね。それで、なお且つ行きやすい場所がいい、スタジアムが欲しいかのかどうかと、私たち委員が聞きたいのかどうかですね。これを聞いてどうするのかということですね。それは、絞った後はもう必要ない、聞くことについては。コンセプトもつくっているところでスタジアムを造ろうと今言っておるわけですね。ここで聞くわけですね。聞いたときに、どういう答えが来るかをどう考えとるのか事務局は、ということです。

三浦会長

一応この問4に関しては、それぞれ前にありました評価項目を市民の方にも分かりやすいように表現を変えて、しています。ですから、行きやすい場所にあるというのは、アクセシビリティということで私たちも議論の発端として、現在のエディオンスタジアムにあったことから、やはりそれは重視するというふうな意見が出るだろうなと思って挙げていると思います。ただご意見を聞くと、どう使うかということでしたけれども、それはやはりあくまでも私たちは前回以降ですね、AHPということで評価項目を、何を抽出するか、それぞれ意見を出しています。それとその後の各候補地における状況を照らして、最終的に選定をするときの材料にする。さらにそれに対して、この市民の意見についても参照することになっていますので、ここで私たちの考えよりも市民の方をよりウエイトを高めることでもないと思っています。

野村委員

よろしいですか。問4の「ク」のところですけど、「整備費、運営・維持管理費に投入す

る税金の額が少ないスタジアム」。こんなの当たり前のことですよ。これを言うのなら、t o t oの助成がどのくらいありますか、それから都市公園法を使えばどのくらいの補助金が出てくるとか、というのは全然市民には知らせずに、ただこれだけ出したんのは、ちょっとそれが正解な答えになるとは私は思えないです。ガンバ大阪のスタジアムはt o t oの助成が30億ですからね。都市公園法のほうはもっと多いというように聞いておりますけれども。50%ぐらいあると聞いていますが。そこらがやっぱり市民に知らす必要があるのじゃないですかね。

三浦会長

今、ここに関しては、事例を出してということですが、その他には何かありますか。

永田委員

今こちらで、例えば問4の「キ」ですね。経済効果や波及効果の大きいスタジアム、これは当然であって、まさに何をもって経済効果というのかちょっと。どういうふうにみなさんが、受け取られるのかというのがわからない。例えば、広島で他のスポーツと広島カープとかいうことを例にとりましても、いろいろな経済効果の数値が出ていますが、もちろんサンフレッチェ広島についても経済効果が出ていますが、本当にそれがそれだけ経済効果と高いと言えるのかどうか。何をもって経済効果があるとするのかというのは、非常に難しい問題で、これは学問として非常に厳しく、これだけでも非常に研究されてて、永遠の課題という部分もありますので、この辺を聞くのは難しい面があるかなというふうな認識をもっています。

また、この使い道といいますか、当然聞くことは利益だろうなというふうな思いはあるのですが、ただ実際にこれを聞いたからといって何をしたらいいのか、これから何を我々はフィードバックして受けて、何を議論していくのかな、というふうな。例えば、今までの我々の議論と議事録を読んでいただいているとか、今までのこのサッカースタジアム検討協議会というものはどういう動きをしていて、本当に例えばですけど、サッカースタジアムが考えられている、建設が検討されているということをご存じの方であれば、もちろん回答していただけたと思いますけど、全くサッカースタジアムの検討協議会自体の存在を知らない人がたくさんいらっしゃいます。その方に対して、どういうふうなことで、どうなっていくのかな。要するにまず議事録を過去から全て出して、提出して、みなさんに読んでいただいて、情報公開をして、我々はこのかたちで広くみなさんの意見を聞きたい。それにつきまして、この調査というかたちで、アンケートをするんで、広く教えていただきたい。それでもって、平易に書き直した文章で回答していただけるのであれば、非常にある意味有益なものになってくると思うんですが、単純にこれを送っただけで回答していただくのは、非常に厳しい部分があるかなと。要するに、何を今現状、今ここで話しているか、ということ自体、ご存じない方がたくさんいらっしゃるということを一番危惧している状況です。

塚井委員

今日前半で新しいホスピタリティ機能、これはたぶん観戦しやすい環境をさす言葉だろうと思ひまして、例えばそれは観客席の広さとか、飲食施設、トイレとか全部含んでいるのだ

ろうと思うのですけれども。今までの議論からこれが、われわれが一対比較した項目に準拠して作られているのはよく分かるのですが、それと同じものを聞こうとしているように作られていると。

しかしながら、2つ疑義があって、まず内容そのものがそもそも皆さんに聞いて大丈夫かということと、それから例えば芝生がきれいな、選手にとってエキサイティングなサッカーができる環境だとか、非常に座りやすい、いい言葉が思いつきませんが、ホスピタリティ機能と聞いてはいけないと思いますけれども、観戦しやすい観客席とかトイレの環境みたいな言葉は訴えると思うんです。そういう項目は今日出てきた話ですけれども臨機応変に入っているでもいいんじゃないかなと思うんです。逆に言うと、われわれが前にしたものどうして無理に突き合わせようとするのを外してしまえば、先ほどの議論もありましたように、経済波及効果について市民の皆様に評価してくださいというのは、これは私ですらアクセスについてちゃんと評価して下さいと言われたら、今は難しいですと答えざるを得ないです。ですが、実は問4を見たときにうっかり見落としてしまして、たぶんこう書かないといけないと思うんです。5つ選んでもいいのですが、最も重視するものから順番に、という問いではいかがでしょうか。これは提案です。なぜかという、行きやすい場所にあるということは何よりも大事なことで、その次に挙げるのであれば何で、その次に挙げるのであれば何で、というような、全部最後まで聞いても大変なんですけれども、少なくとも1番目2番目、3番目くらいまでは何がしかの意味があるのだらうというようなことで。そういうふうな問い方にすれば、その人は座って観戦しやすい環境とアクセスはなかなか比べがたいのですけれども、それでもよりどっちが重要だと思っているのか、皆さんのニーズとして高いのか、これもなかなか聞くのは難しいと思いますけれども、一対比較は我々がした中で出てこなかった項目かもしれないですけれども、皆さんのニーズがどこにあるのかということに関心ある人と関心のない人も含めて、これは会長がおっしゃるとおり両方とるべきだと思います。それを含めて優先順位を決めていただけるような聞き方になっていてはどうかというふうに考えます。

今まで申し上げたことをもう一度おさらいすると、まず我々がしたAHPの対応関係を重視しなくてもいいのではないかな。そういう意味において項目の修正や入れ替えも可能になるのではないかな、これが1点目。2点目は重視すべき項目を最も重視するものから順番にという聞き方にすればいいのではないかなということを2つ申し上げました。と2点申し上げます。もう2点は、これはあくまでも参考だと思います。どう考えてもこれに引きずられて協議会の意見を決めるのは趣旨に反する。したがってその位置づけは市民の方にも分かるように書いておかなくてはならない。だからこそ、適地選定のことを入れて聞くみたいなことをするといったい何を聞いているのか分からなくなるといった議論があったと思いますので、そこは重要だと思います。その過程において、永田先生がおっしゃったように、情報公開されているはずですから、見ようと思う方はこの委員会の議論はこういうものでした、こういう場所に書いてあります、そういうことが表書きに書いてなければならないと思います。これが3番目。最後は、今日出てきたスタジアムの意義、機能、課題、こことの関連性をとってもいいのではないかな、これも提案です。4番目はそういうことで今の話でホスピタリティのことについて聞きたければ聞けばいいし、それから特に女性やサッカー観戦者にも分かりやすく親しみのもてる施設というのは、例えば私はこれは具体的には託児所のことだと思った

んです。子どもさんを預けるとか授乳室とか、例えば今のスタジアムには多分ないのだろうと思うのですが……、すみませんあるそうです。初心者にも分かりやすいというのはちょっと違いますね、小さいお子さん連れにということですが、例えば何か例示ができるのであればそういうようなものをきちんと大々的に打ち出したようなものがあるのかとか、そういう意味で項目の入れ替えを図ることができるのではないかと思います。

そういう意味で、「ウ」あたりは少しフワフワしているので、書き直すのなら「地域交流や国際交流がサッカーを通じてできる」というような。実はどこかに書いてあるようなんですが。「スポーツを通じた平和のメッセージ」とか「サッカーを通じた地域交流」とか、このあたりのことが選択肢に入ってくる。それはアクセスより大事なのか大事でないのか。そこが分かることが大事だと思います。個別の項目をこれ以上申し上げると長くなるので、そこはあとで事務局にお伝えしたいと思います、趣旨はそういうものだと私は理解しています。すみません長くなってしまつて。

三浦会長

はい。今のご意見は、大きな内容に関しての変更の部分があったと思います。今、基本骨格としては、私たちが一対比較した評価項目に対して、市民の方はどの辺を大事だと思っているかと参照しようということで作っていますが、今日の資料のなかで、当然内容を詰めないといけないと思うんですが、それぞれのところでのコンセプトにつながる部分も聞いた方が、というご意見だったと思います。コンセプトの方が多分、より馴染みがあるのではないかとご意見ですが、その辺を踏まえてみるのはいかがですか。

加藤（義）委員

1つすみません。事務局に聞いてみたいのですが、もしここで「関心がない」という人と「観戦したことがない」という人と、その下「つながらなと思う」という答えが出たら、この協議会はそこで終わりになるんですか。

これはね、市民の声を聞く段階ではないんじゃないかと思うんですけどね。もしかして、ジャンルに分けて、関心がある人たちはあとの設問にどう答えてたか。関心がないという人については、どういう答えが出てきたかというのは全部分けて考えなければいけないと思いますね。関心がない人がここの後の設問4をずっといくということは、ほとんど危険なんです。そういう扱いを、今の千個のデータを分類したときにどう扱うかですね。3問までは聞いてもいいのかも分かりませんが、3問まで聞いて関心がなくて、つながらない、という結果が出たら、もうこの話はストップすることになるわけですね。そういう腹を決めてアンケートというものは聞かなければいけないと思います。アンケートを出す前に、なんでこのアンケートをとるのかというのを、もうちょっと文章をきちんとつけて、アンケートの答えを作りださないといけないと思う。簡単に考えすぎているので、もしかして設問の4だけを聞くのならまだ分かるんですね。1、2、3を聞いて、そこでもう関心がないという人だったら、どうするのかというのを腹を聞いておきたいです。私はそんなことを聞くのなら、ここへいろいろなジャンルの人が集まって協議会が出来たのだから、私たちに聞いてもらえればいいじゃないかと。市民に聞いたら、もっと先に、協議会ではこんなことを決めて、こんな提案があったけれど、市民はどう思うという、今度は市政の場として聞いてもらいたいです。

ね。それなら分かるんです。私たちがここを是非欲しいとは思いませんね。そう思いませんか。事務局から答えをもらいたいです。

三浦会長

はい。今のご意見のなかで、問3に関して聞くことの意義ということを言われました。ご意見を聞きながら確かに、そこで「つながらないと思う」と言われても、私たちはそれはつながると思って物事を進めているので、それをどう反映するか。一つは自分たちがやっていることは、広くみなさんの方に伝わっていないという、自分たちが反省する材料にはなるかなと思いますが、今回のこの本質には違うかなと思いますが、問3はちょっとやめておいた方がいいかなと思いました。問1、2というのは、あくまで後半で言っている性別とか年齢とかと同じような個人の属性を聞いているところですので、後々どういう人が、という時に使う情報だと思っています。その程度の扱いでいいと思っています。ですから問4、ちょっと骨格は違うんですけども、塚井委員が言われたように、どちらかと言うと、私たちが今進めているこういうコンセプトでスタジアムを造ろうと思っていることに関して、いくつかコンセプトでもっているなかに対して、どれが確かにそのコンセプトを活かしてほしいか、ということ、意見を聞く方がいいかなとご意見を聞きながら思ったんですけども。そうなると全体的には、フォーマットも、それから今ありましたように、実際アンケートする際には当然、前の文章で、どういう意図で、どういうふうにするかを説明をして作らないといけませんので、その意図を踏まえて、手を加えていきたいと思います。早々に私の方で、責任をもって事務局と詰めて、案を作って、また今度はなかなか集まるのは難しいですので文章等でご意見をいただいて、進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

永田委員

一つだけ正式に。問2なんですが、エディオンスタジアム広島。細かいことで申し訳ないですが、広域公園陸上競技場という正式名称を入れた方がいいかなと。エディオンスタジアム広島と書いてありますので、正式名称では、広域公園陸上競技場という正式名称で書く必要があるかなと思います。

三浦会長

ありがとうございます。はい、それではもう2時間を過ぎてしまったんですが、最後、今でも出ました、前回のAHPで私たち評価したものを今後どう使っていくかについて、資料4を使って説明をしていただければと思います。

事務局

失礼します。では資料4です。先般のAHPのアンケートでご協力ありがとうございました。今後の候補地の評価方法についてということで、手順を簡単にまとめております。まず最初は(1)で候補地の基本情報の一覧。これは各候補地のいろいろな内容についてその情報を整理していきます。それで内容の検討に応じて、その情報を追加していく、ということです。これは事前に、送付しておりますそれぞれの内容について不足しているところとかを

追加していくということです。続いて（２）として、候補地の評価。これは、第１５回の協議会で提示をする予定ですが、（２）の１番下の※をご覧ください。そういった形で基本情報を元に、評価項目ごとに、候補地の優劣を評価する。これは候補地の相対評価ということです。それで優れている順番を◎、○、△とし、小項目に細分化している評価項目は、小項目の評価結果を総合的に判断し、大項目にて評価する。最後ですが、評価は、事務局で案を作成し、協議会で検討する、という流れです。これを受けまして、協議会の方で検討を、この例えばその表にあります、規模の制約について、例えば候補地Ａが◎、Ｂが○、候補地Ｃが△、ということになったときに、これでいいかどうかを協議会の方で話をさせていただくと。これを受けまして、最後３番目に候補地の評価。これがありました、ＡＨＰによる重みづけの評価を加えまして、１番下の※をやはりご覧ください。◎を５点、○を３点、△を１点として配点して、評価項目の重みと配点から総合評価点を算定していくと。これの提示を１５回の検討をしていただいた後に、提示をする予定でございます。以上です。

三浦会長

はい、今の説明で捉え方としては全体的な流れがこういうことで、ということだと受け止めてよろしいですか。それと、一応今は案として、◎と○と△で、最終的にはそれが５点、３点、１点となるということですが、実は内容によっては、こういうふうな並びにならないこともあると思います。例えば、ある項目に関して、１番良かった部分を５としたときに、次が４点ぐらいの位置づけになって、もう１つが２点ぐらいになってしまう、ということはあると思うので、出来るだけシンプルにはしたのですが、今でいう◎、○、△というのは、こういうふうに考えて、個別に点数化するのは難しい、だけれども、ある程度それぞれの位置づけを分かるようにするというふうに受け止めていいですか。よろしいですね。この辺については実際に、事務局側で案を作成する際に、詰めていただければ、それぞれの候補地についての感覚をつかみやすいと思います。

その他に何かご意見ありますでしょうか。何か質問でもいいですが。

川平委員

先般、アンケートを出しましたよね。あの結果というのは開示されないですか。一緒にされるのですか。

事務局

ＡＨＰの分は、今集約をして、先ほどありました（３）のときに、それを出しますので、もしその時に開示を委員の方が言われれば、開示はいつでもできますので。

川平委員

だから、委員１１人がそれぞれ○をつけて、渡しましたよね。全体集計したものがこういう形になっているというものを見せていただければいいなと気がしますがね。

三浦会長

それは、各候補地についての状況を私たちが情報を元に、ここですと（２）ですね。

(2)を済ませてからでないと、AHPの結果を見てしまうと、ここ重視しているから、ここにどうということになってしまうので、あれはちょっと置いといたうえで、公平な目でデータの整理をして、それぞれの位置づけをしたいと思います。それが出来た段階でおおよその、詰めることはあると思いますけれども、ほぼこれでいいなという段階で、AHPの結果と照らし合わせるというふうに思っています。

その他よろしいですか。ありがとうございます。ではこの方針で、整理させていただきま。あとは、そこに参考資料は用意しておりますので、またこれは次回に向けての時間のなかでご覧になっていただければ、と思います。

小谷野委員

確認ですが、今回はこの評価項目に応じて評価するという事で、その前提として、基本情報等について、ここの認識はこうなんじゃないかというような事実確認も含めて、次回行うという理解でよろしいですか。

三浦会長

そうですね。それは修正があれば。出来れば、事前にもしあれば事務局に言っていたいて、確認していただいてもよろしいかと思います。

小谷野委員

出来るだけは早めにできればと思います。

三浦会長

次回についてまだ日程は決まってないんですかね。来月の頭の勉強会は別にして。

事務局

一応、今のところ一番委員さんが出席する確率が高いのが、8月27日水曜日午後3時から5時まで。ここが一番多いです。

三浦会長

では、その日で決定ということでしょうか。では8月27日の水曜日、15時から17時まで。場所はまたおって連絡ということで。ありがとうございました。

予定を一応2時間の予定ですけれども、2時間20分。ちょっとオーバーしましたが、大事なところですので、いろいろご意見いただいて良かったと思います。それを受けて、またこれから進めていって、みなさまの方にコンセプトの方もそうですし、アンケートの方についてもお見せをできると思いますので、またご意見をいただければと思います。

これから夏は暑い時期ですけども、それぞれご自愛いただければと思いますし、来月勉強会は別途行います。そこで何かあれば話せると思いますけれども、そこでも私たちが今進めていくうえで必要な情報を得られると思いますので、参加される方は是非よろしく願いしたいと思います。

はい、それでは長時間ありがとうございました。以上で本会の協議会を閉会いたします。